

令和5年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市甲斐の国大和自然学校			検証日	令和6年7月8日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当	課長名	廣瀬 仁	作成者名	小澤 龍司	
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 橋本 篤幸				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野116番地				
		設置目的	地域産業の振興を図るため、農業と自然を活用した都市との交流施設として、甲斐の国大和自然学校施設を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	10名	開館日時間等	一日使用(5月~9月) 9:00~17:30 (上記以外) 9:00~16:30 宿泊使用 13:00~10:00 (毎週月曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)自然学校施設の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2)自然学校施設使用料徴収事務に関すること。 (3)自然学校施設利用料の徴収事務に関すること。 (4)施設利用あつたてのサービス、指導に関すること。 (5)その他の日常業務				(6)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (7)備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く)。 (8)その他施設の管理に関すること (9)業務の報告	
自主事業		(1)「子ども自然塾」の開催など子供向け事業の実施 (2)市内外からの合宿誘致 (3)青少年育成事業の充実					

管理運営コスト推移(千円)		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
	利用料金収入	22,505	22,550	10,850	9,650	17,800
	その他収入	7,500	9,100	6,050	8,550	9,000
	管理運営経費	41,650	42,450	27,700	29,000	37,600
決算	指定管理料	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
	利用料金収入	21,995	2,436	4,965	14,144	20,235
	その他収入	9,819	5,926	9,832	13,614	7,409
	管理運営経費	42,226	24,875	31,272	36,617	35,031
	収支	388	-5,713	-5,675	1,941	3,413
減収補填		2,856		2,837		
施設の稼働状況		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
指標	施設利用者数(人)	9,916	2,582	4,716	8,510	8,934
	活動結果	令和5年5月にコロナ感染症が5類へ移行し、集客数も前年比424名増加した。中山間を生かした自然体験や、スポーツ団体への合宿誘致など、指定管理者ならではの取組等の経営努力により3,413千円の黒字となった。				

評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
(1)事業の運営	3	・協定書通りに適正に管理運営が行われた。 ・自主事業を積極的に実施し利用者数を増やすなど事業の努力を行った。 ・スポーツ団体への合宿誘致など、指定管理者ならではの取組が行われた。 ・施設の設置目的にある「地域産業の振興を図る」ための取組については課題が残る。
(2)施設の維持管理	3	・施設の日常点検、法定点検と適切に行われている。 ・周辺環境の保全も実施している。
(3)収入支出	3	・物価高騰の影響は受けたものの、自主事業などの経営努力により3,413千円の黒字転換ができた。
(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)	
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当	・物価高騰等の影響もある中、経営努力により支出を前年比1,586千円抑え、指定管理者の特性を活かした自主事業等により集客を増やし黒字経営となった。一方で、地元人材の雇用や、地元の食事処やレジャー施設の活用といった地域に根ざした活動については課題が残る。

評価結果に対する施設所管課の対応	
当面の課題	・受水槽や温水発生機、空調設備、施設の老朽化に伴う建築是正工事など施設の健全化に要する費用が膨大となるため、営業を継続することは難しいと判断し、令和5年度をもって甲州市甲斐の国大和自然学校は休止とした。
課題解決への対応	・休止とした施設の今後のあり方について検討していく。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
- ・スポーツ団体への合宿誘致など指定管理者の特性を活かした自主事業等の利用者数の増加を図る取り組みがされていた。
- ・地元人材の雇用や、地元の食事処やレジャー施設の活用など、地域に根ざした活動については、改善する余地があったと感じる。
- ・施設全体が老朽化していたが、施設の日常点検、法定点検等と適切に行い、安全に施設の利用ができるように務めていただいた。